



特・別・対・談

「きものABCの方向性」とは

「日本きもの学会」では、きものを学術的視点から見つめていくことを主眼としていますが、同時にきもの振興やきものマーケットの動向、さらには、きものビジネスも含む全方位に関心を払っていきます。今回、波多野進・本学会会長と京都織物卸商業組合理事長の小澤淳二理事長によって「きもの文化とビジネスの間」をテーマに話し合っていました。縦横に展開する話題は、誌面に収まりきれないのが残念ですが、その一端を採録しました。

京都織物卸商業組合理事長  
**小澤 淳二**  
日本きもの学会会長  
**波多野 進**

——今日の座談の端緒として、「きものABC論」というのを提起したいと思います。それぞれ、アート(A)、ビジネス(B)、カルチャー(C)の頭文字を並べたのですが、きものこれから考えるとき、例えば小澤さんの立場ではビジネスを本体の芯とするなら、きものが持つアートやカルチャーの要素を付加することが必要になり、一方、本学会ではカルチャーを中核に据え、それを深耕するためのアートやビジネスへの目配りが必要になります。こうしたABCのそれぞれの関係をどう考えますか。

●小澤(以下、敬称略)「いや、ABCね。これで話しては尽きるのではないですか(笑)。付け足して、話しを転がしますと、私がしばしば

心の足し、の文化に大いに関係します。話しは大きくなりますが、日本の国としての成り立ちの歴史は、最初、朝鮮や中国へのコンプレックスがあって、平安期の国風文化の確立に向かい、江戸期において「鎖国」体制下の自給システム完成とともに、和風が完成型に達しました。きものも同様で、最初は、アジア大陸伝来のスタイルだったのが、独自に発展して世界のどこにもない、優れた機能と美を備えた衣服として磨き上げられ、完成したと言えるのは明治期かもしれません。

●波多野(以下、敬称略)「きもの学」のスタートの事情も、

2008年度「きもの学・東京」早稲田大学

1. 受講対象/学部学生(全学部)但し、公開講座 10月9日・12月11日 受講料/無料  
公開講座のお申し込みの方は、往復はがきの往信面に希望講義と電話番号を返信面に住所・氏名を明記の上、日本きもの学会事務局まで
2. 講義日時/平成20年10月2日(木)~平成21年1月15日(木)の14日間  
毎週(木曜)午後1時~2時30分
3. 講義会場/早稲田大学・早稲田キャンパス14号館201教室(東京都新宿区西早稲田1-6-1)

※印は一般公開講座

講義回	月 日	講 義 テ ー マ	講 師 名	講義回	月 日	講 義 テ ー マ	講 師 名
1	10月2日	授業の進め方	藤井浩司	8	11月20日	西陣織の帯	酒井貞治
2	10月9日	おもしろきもの学	市田ひろみ ※	9	11月27日	帯と結びのはなし	笹島寿美
3	10月16日	男のきもの	早坂伊織	10	12月4日	沖縄の伝統染織	富山弘基
4	10月23日	白生地と糸	渡邊正義	11	12月11日	歌舞伎衣装	菊池 明 ※
5	10月30日	染(京友禅)	生谷吉男	12	10月30日	きもの市場の展望	波多野進
6	11月6日	東京染小紋の歴史と実技	富田 篤	13	平成21年1月8日	行政の立場からきもの未来を考える	高橋尚義
7	11月13日	十日町織物の歴史	佐野良吉	14	1月15日	マーケティングで広がるきものマーケットときもの文化	矢嶋孝敬

挑戦 あなたのきもの知識度は?!

知っているようで存外、知らないのが知識というもの。きもの知識レベルの診断にこんな問題を用意しました。左が(社)日本図案家協会の「日本文様検定」、右が(社)全日本きもの振興会の「きもの文化検定」今年の2級(模擬)問題です。

【問題1】  
次の「平仮名」の文様名称を「漢字」に、また「漢字」の文様名称の正しい読み方を選んで番号で答えなさい。(うちわ→団扇、破魔矢→はまや)  
a 替 b 蟻螂 c 蕨 d 翡翠 e かり f むくげ  
g いしだたみ h おきな

- 1 せきれい 2 かわせみ 3 鶉 4 雁 5 くつわ  
6 おどし 7 翁 8 甕 9 かまきり 10 わらび  
11 槿 12 木賊

【問題2】  
図を見て、次の文章の( )内に入れるふさわしい語を選んで番号を答えなさい。



a 図Iは孝行息子の(イ)を主人公に(ロ)を表した文様です。このように人物を描かず由来するモチーフだけで表すことを(ハ)と呼びます。  
b 図IIの文様の名称は(ニ)で、シルクロードを経由してもたらされた(ホ)です。日本では鳳凰などと混同されて(ヘ)の文様へと変化しました。

- 1 尾長鳥 2 留守文様 3 張良  
4 花喰鳥 5 孟宗  
6 影文様 7 中国説話 8 渡来文様 9 松喰鶴 10 歌舞伎

答え  
問題1 a 5 b 9 c 10 d 2 e 4 f 12 g 8 h 7  
問題2 イ 5 ロ 7 ハ 2 ニ 4 ホ 8 ヘ 9

【問題1】  
次の問題の空欄に下の語群の中から適当な言葉を選び、文章を完成しなさい。

本場大島紬は、盛んになった江戸時代には「ア」を用いていたが、大正時代には絹糸糸を用いるようになった。また明治後期には絹糸作りのための「イ」が開発されて模様がいっそう精緻になった。現在は泥染めを施した「泥大島」のほか、化学染料による「ウ」、春先やひとえにふさわしい白地の「白大島」、透けるように薄い「エ」などがある。

- 選択肢  
1: 薄大島 2: 色大島 3: 綿糸 4: 高機 5: 紬糸 6: 染大島  
7: 縮機 8: 夏大島 9: 麻糸

【問題2】  
次の問題の空欄に適当な言葉を入れて、文章を完成しなさい。  
日本には昔から「ア」の習慣があり暦の上では6月1日と10月1日が「ア」である。ただし現代では地域や気候にあわせて調整するのがよい。「イ」のきものには背伏や強度を保ち透けすぎを防ぐための「ウ」を用いる。

【問題3】  
次の問題の空欄に適当な言葉を入れて、文章を完成しなさい。  
京鹿の子絞は、白生地に絞り模様の水玉を彫った「ア」をあて「イ」で摺り写し指先でつまんで折った後括る。江戸時代には、この贅沢な絹の「ウ」が全盛となり、何度も奢侈禁止令の対象となった。

答え  
問題1 ア-5 イ-7 ウ-2 エ-8  
問題2 ア-更衣・ころもがえ イ-単衣・ひとえ ウ-層数当て・いしきあて  
問題3 ア-型紙 イ-青花 ウ-小袖

▼事務局だより  
「きもの学」講座が全て終了した九月十三日(土)、きもの学」の受講生と講師の皆さんとの交流会をもちました。会場は、京都市下京区のメルパルク京都八階展望ラウンジ「大文字」で、各テーブルできもの談義に花が咲き、楽しいひと時を過ごすことができました。



今回紹介しました「きもの学・東京」のコーディネーターの藤井教授をはじめ、早大職員の方々も参加して下さいました。東京の「きもの学」は、早大生向けの講座ですが、一般に開放する公開講座が二回設けられています。市田先生、菊池先生お二人の講義が今から楽しみです。(嶋)

# 「心の足しになる文化の味付けを」

小澤



ります。戦闘服でないものはないのかというと、これの真反対の存在がきものなんです。体を固め、プロテクトする洋服と違ってきものは着る人の着方に全てゆだねます。体に沿い、袖から風を通して空調しながら、自然と共生していく。フリーサイズで個々人の気分に合わせてくれる融通無碍な衣服。しかも、色々な場面を着分けが出来る、最高クラスでは「歩く美術品」といわれるほど、徹底した美を追求する。さらに、染め替え・洗い替えでリ・ユース可能、きものとしての使命を終えれば座布団になり最後は子供のおしめや雑巾にまでリサイクルされる無駄のない完璧な衣料です。さらに、私が考えたのは、きものを生活空間のベースに考えていくという方法です。家も街も、きもので暮らすのにジャストフィットすること。きものに合わせた構造、機能を持ち、

「戦闘服脱いで、きものがある暮らしを」

波多野 ●「生物はもともと飢えていた。経済学ではこれを「希少性」といいますが、その中で、人間は本能で生きる部分がたくさんなく、学ばないと環境に適合する生物です。小澤さん流に言えばまさに「学びへの飢え、あるいは「学びの本能」かも知れません。「ヒト」は学んで始めて「人」になるのですね。きものを学べば日本人になる。日本人であることを

学べばきもの良さに目覚める。『きもの学』や本学会に参加される人、あるいは関心をお寄せいただく方など、同志が増えていくと、時代の歯車が動いていくかもしれませぬ」



波多野

●小澤「明治から数えて一四〇年。西洋コンプレックスから抜け出るときが来るのではないですか。誰もが心の底でぼんやりと考えていることは、衣料で言えば、綿や麻や羊毛など自然素材には温もりを感じるのに、ポリエステルではどうでしょう。エッセンスの温もりを寄せて癒されることはありますが、規格大量品ではそうは行かない。どうも、明治以来の富国強兵の目指した方向から時代はぐるっと巡りして、温もりとか癒しなど、心の足し、言い換えれば文化の持つ静かなパワーといったものに心を寄せる時代になったというところでしょう。今日のテーマのABCのビジネスで言えば、そのサイクルが直ちにきものに向かうとはいえませんが、トレンドはきもの方向に向いていると言えます。ここに確信を持って「高い」をすすめていくことが大事なのではないでしょうか」

波多野 ●「いま、我々がだんぞっている『洋服』は、元はといえば「戦闘服」なんだろう、と。それは日本人の生活意識とはどうやら相容れない。家へ帰ると直ぐに脱ぎたくない

波多野 ●「飛躍しますが、最近の消費の傾向は、どうも、何物かの「飢え」に突き動かされるのではないかと思いません。それが文化への欲求なのかもしれない。例えば、美しくなるための投資、文化的な素養を身に付けるための投資、美的な空間に身を浸すための時間消費への投資。女性の『美』や『文化』への「飢え」は相対的な変化が起きている。モノよりコトや情報価値に消費するようになってきています。モノとしてのきものの価値も、その周辺に付着する文化や美の価値を刺激しないと振り向いてもらえない、という現象があちこちで見られます。それが、今日のテーマのABCのオートやカルチャー的要素なのかもしれない。『きもの学』や『き

## 名古屋帯物語 ②

京都伝統染織学会客主 日本きもの学会常任理事 富山弘基

### 四、名古屋帯の特性

名古屋帯の特徴は付け帯とは異なる特徴があった。元市田(柳)取締役・青木治夫編『きもの物語』昭和五八年・京都織物卸商業組合刊に「名古屋帯は胸の部分を半幅に仕立てて、垂れを広く(並幅)に仕立てる帯で外出用又は趣味的おしやれ用等に使用する」と解説している。仕立て形式は(社)日本和裁士会編『和服裁縫ハンドブック』昭和五七年刊から引用図解(参照)でよくわかる。

の帯などとあまり関係がないこと。それゆえに民の帯は時代感覚を取り入れ、形を自由に変化させ、新しい風俗を誕み出してきたという経緯がある。

### 五、名古屋帯の発祥とその道のり

さて名古屋帯の発生とその普及について諸説を承知の上で、ここで一つの結論をくだしてみたいと思う。現在の和装帯の主力商品は丸帯と昭和四年に西陣で織り始めた本袋帯であるが、大正初期に萌芽した名古屋帯も肩を並べている。丸帯・袋帯と名古屋帯の大きな相違は、名古屋帯は用尺が短く仕立て方が異なることにある。つまり経済的で合理的な利便性を備えている。

元伊勢丹呉服研究所長で、もの評論家・安田丈一氏は「大正から昭和のはじめにかけての新しいものといえば、名古屋帯・アツパツパ(夏に婦人が着るだぶだぶの簡易服)・エプロン・割烹着がある。名

明治期以後の帯の種類・呼称は多様となり、日本風俗史研究の大家・江馬務氏が唱破したように「民衆の帯は官服

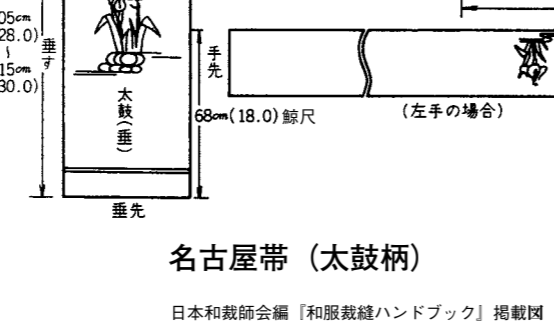


子 は学監兼舎監となる。この開学と軌を一にするかのよう

古屋帯を東京で最初に締めたのは芸者衆で昭和三、四年頃だった。『服装文化』一六五号・昭和五五年一月刊。また、昭和五年九月一日発行の外定商店(大阪)発行『実業倶楽部』相場報告欄に「変織名古屋帯」が商品として取引されており、昭和初頭には各各地産地で生産された名古屋帯が全国の呉服市場で流通していたことがうかがえる。

ここで名古屋帯発祥と発展の道のりをたぐってみたい。名古屋帯の原型考案者としてほぼ特定できる越原春子氏は明治一八年、岐阜県加茂郡越原村(現東白川村)の代々庄屋を務める越原家の一人娘として出生。一五歳で小学校教員となり、同三九年に中京裁縫学校の教員を経て、大正四年に夫と共に名古屋市東区葵町に本科・裁縫科・家政科を有する名古屋女学校(名古屋女子大学の前身)を創立した。夫越原和を校長に、春

子 は学監兼舎監となる。この開学と軌を一にするかのよう



ついで、とつとつ、名古屋帯の名づけ親になったんです。春子氏の帯を借りて店に持ち帰り、新規商品にならないものかと店と相談、京都西陣の織屋に同じ用尺のものを織らせて店頭で売り始めたのは大正一三年。越原春子氏の学校名と地名にちなんで小沢氏が「名古屋帯」と商品名をつけた。帯地の布の使い方が経済的だったので、名古屋人の「けち根性」と東京でけなされたりもしたが、瞬く間に全国の呉服店が扱う勢いとなった。名古屋人好みで成功した例の一つである。越原春子氏が新しい帯仕立てを創案してから広く世に知られるまで一〇年の歳月を要したが、小沢義男氏の商人の直感と商売に結びつける実践力が、和装界において名古屋帯を商品として不動のものにした。

六、名古屋帯の原型創案者と名称命名者

名古屋女学校が四年制の名古屋高等女学校に昇格する前年の大正九年、市内中区の村呉服店(後のオリエンタル

中村百貨店↓現三越名古屋栄店)に入り、外商店員をしていた小沢義男(後に取締役)が、名古屋帯の名称は私が名付け親だと詳細を語る場面が『名古屋ケチケチ繁盛記』大野一英著・昭和五二年講談社刊にある。その一部を引用すると「名古屋女学校の越原春子先生のところへもよく通ったものですが、春子先生がちよっと変わった帯を使っておられた。あの帯、ちよっと変っているなあと思つたのが病み

『名古屋帯物語』①の本文中に「現在は肥前名古屋帯保存会(伊前百合子会長)が…」は、伊藤百合子会長の誤りにつき訂正致します。

(次号に続く)